

だんごむし通信

2016年4月号

発行元

慶應義塾大学 防災社会デザイン研究室

監修：環境情報学部 准教授 大木聖子

下ノ加江小学校のみなさんへ

1年生のみなさん、ご入学おめでとうございます。慶應義塾大学で防災の研究をしている大木聖子先生と齋藤文です。私たちのことは、大木先生・もんちゃん先生と呼んでくださいね。私たちは去年から下ノ加江小学校のみんなと一緒に防災のお勉強をしています。今年1年間、みんなに楽しく防災のことを知ってもらえるようにがんばります。よろしくね。

2,3,4,5,6年生のみなさん。進級おめでとうございます。今年も地域の防災リーダーとして一緒に防災のお勉強をしていきましょう。みんなの成長と活躍を楽しみにしています！

保護者の皆様、地域の皆様

慶應義塾大学環境情報学部准教授の大木聖子と、政策・メディア研究科2年の齋藤文です。昨年に引き続き今年も1年間、下ノ加江小学校の防災教育発展に向けて精一杯サポートをしていきたいと思ひます。「だんごむし通信」も毎月発行して参りますので、お子様やご家族で読んでいただけたら幸いです。今年度もどうぞよろしくお願いしします。



今月号では、これから防災を学ぶみなさんにどうしてもお伝えしたいことがあってお手紙を書いたよ。みんなで読んでみてね。

◆ これから防災を学ぶみなさんへ

近い将来、みんなの住む土佐清水には南海地震が必ずきます。でも、地震はいつくるのかな？ 30年後かな？ 10年後かな？ 来週かな？ 明日かな？

実は、誰にもわからないのです。地震学者の大木先生でもわかりません。みんなが思っているより、地震学にはわかっていないことがたくさんあります。

そんな地震のお勉強をしていくみんなには、何よりも先に伝えたいことがあります。

それは、**大きな揺れがおさまったらすぐに高台へ避難すること**です！

2～6年生のみなさんには復習になるけれど、一番大切なことなのでもう一度確認するよ。

1分ゆれたら大地震！警報を待たずに高台へ避難！

これは私たちとみんなの約束です。これから1年間いろんなことを学んでいくけど、これを初めに伝えておきたいと思ひました。最後まで読んでくれてどうもありがとう。また下ノ加江小学校で会えるのを楽しみにしています。

大木先生ともんちゃん先生より

◆ 平成28年4月におきた熊本地震について

この度発生した「平成28年熊本地震」により亡くなられた方々、ご家族の皆様に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された皆様には心よりお見舞いを申し上げます。地震発生以来、防災の研究をする者として、防災社会デザイン研究室として今何ができるのかを考える日々を続けております。

□ 下ノ加江小学校の先生方・保護者の方へ

防災社会デザイン研究室としてはまず1つめのアクションとして、小学生を対象としたポスター形式の「月刊だんごむし特別号」を作成しました。ポスターは以下の3部構成からなり、「どうして地震が起こるのか（科学）」、「熊本の人は今どんな気持ちなのか（共感）」、「今から地震にそなえてあなたにできることは何か（備え）」を学ぶことができます。校内掲示用に大きく印刷して、子どもたちの防災学習にお役立てください。

◆ ポスターのダウンロードはコチラからしていただけます。

⇒<http://bosai.sfc.keio.ac.jp/kumamoto2016/otayori-kumamoto/>

□ 下ノ加江小学校のみなさん

平成28年4月に起きた熊本地震をみてどんなことを考えたかな？知りたいと思ひたことはあるかな？今回の熊本地震は「遠くで起きた地震」ではなくて、日本のどこでも起こる可能性があります。

今日は熊本地震で被災した人の声を聞いてみましょう。そして、自分にいま何ができるのかを考えて友達や家族、先生と話してみてください。

10代女性



初めてのことだった。
周りをみたら本当にここが地元なのかと不安になった。
すごく泣きました。怖くて親にしがみついていた。

小学2年生



早く学校で勉強したり、
友達と遊んだりしたい。

小学1年生



友達と離ればなれになってさみしい。

50代男性



重たいものでもふきとばされる。
家具の固定の大切さが身にしみた。

成人女性



天井も壁も倒れてきて、
頭の上にもきて怖かったです。

《 出典 》

- ・ 2016年4月15日 NHK NEWS WEB / 2016年4月15日 読売新聞・夕刊
- ・ 2016年4月17日 読売新聞・朝刊 / 2016年4月19日 日本経済新聞・夕刊